

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 11 日現在

機関番号：14601
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2009 ～ 2011
 課題番号：21520792
 研究課題名（和文） 地理の指導力向上に資する教員研修プログラムの開発
 研究課題名（英文） Development of a teacher education program for improving teaching ability in geography
 研究代表者
 岩本 廣美（IWAMOTO HIROMI）
 奈良教育大学・教育学部・教授
 研究者番号：40243349

研究成果の概要（和文）：本研究は、次の3点の解明をめざしたものである。(1)全国の教育センター等が、中学校社会科地理的分野に関する教員研修をどの程度実施しているか。(2)全国の中学校社会科教員が、地理的分野の単元「身近な地域」をどの程度実践しているか。(3)単元「身近な地域」に関する教員研修プログラムを開発・実践し、その効果がどのくらいあるか。

研究成果の概要（英文）：The aim of the present study was to elucidate the following three points: 1) the extent to which educational research and teacher education institutes in Japan implement in-service junior high school geography teacher education programs 2) the extent to which social studies teachers at junior high schools in Japan implement “Community Area” geographical education, and 3) the effects of development and implementation of teacher education programs on “Community Area” geographical education.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	500,000	150,000	650,000
2011年度	1,700,000	510,000	2,210,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：人文地理学・人文地理学

キーワード：地理教育・教員研修・地域調査

1. 研究開始当初の背景

従来の中学校社会科地理的分野の指導の実際においては、地域調査の指導は不振であった。不振な原因として、次のア～ウの3点が挙げられている。

ア. 限られた年間の指導時間数の中で地域調

査に時間を割く必要性が教員に認識されていない。

イ. 地域調査に関する定期考査の試験問題の作成に困難を感じる教員が多い。

ウ. 担当教員の側に地域調査の指導に必要な指導力が備わっていない。

以上の中では、ウの指導力がもっとも重要と考えられる。ウが解決されればア、イの問題点は結果的に乗り越えられると考えられる。ここに、地域調査の指導力向上に資する教員研修のプログラム開発が求められる理由がある。

近年は地理学界において地理教育の研究がさまざまな領域で進展しているが、教員研修に関しては、学界レベルで実態がほとんど把握されていないことも背景として重要である。

2. 研究の目的

(1)地理の指導力向上をめざして各地の教育委員会（教育センター等）が実施する中学校社会科地理的分野に関わる教員研修の現状や課題を明らかにする。

(2)研究代表者・分担者が、「地域調査」に関する効果的な研修プログラムの開発を行い、研究期間内に各地の教育委員会等が開催する教員研修会に出講して実地に指導に当たり、効果の検証を行い、プログラムの有効性を明らかにする。

3. 研究の方法

(1)教員研修の現状や課題を実態調査：全国の教育センター等141機関にアンケート調査票を郵送し、平成20年度の中学校社会科地理的分野に関する教員研修の内容、成果、課題等について回答を得る。また、選択した9機関を訪問し、同じ項目で詳細なヒアリング調査を行う。全国の中学校約1000校にアンケート調査票を郵送し、社会科教員から地理的分野に関する教員研修の内容、成果、課題等について回答を得る。

(2)地域調査に関する研修プログラムの開発・作成、出講、効果の検証：地域調査の指導力向上をめざす研修プログラム開発・作成を行い、教育センター等に出講し、教員の指導を行う。また、追跡（アンケート・ヒアリング）調査を通して、参加した教員が研修後にどのような授業実践を行ったのか等を把握し、研修プログラムの効果を検証する。

4. 研究成果

(1)全国の教育センター等が実施する中学校

社会科地理的分野に関する教員研修の実施状況を、アンケート調査によって明らかにした。教育センター等141機関にアンケート調査票を郵送し、69機関から回答があった。その結果、2009（平成21）年度に中学校社会科地理的分野に関する教員研修を実施したのは、全体の約半数に当たる34機関だったことが明らかになった。それらは、教育センター等を会場に、講演・講義形式により、「実践事例の紹介」、「理論、方法論」、「教材化の視点」を扱うものが多く、野外での地域調査の活動を伴う教員研修はほとんど実施されていないことも明らかとなった。

(2)全国の中学校社会科教員が、社会科地理的分野の実践をどのように行っているかについて、単元「身近な地域」の扱いを中心にアンケート調査によって明らかにした。社会科教員1004名にアンケート調査票を郵送し、382名から回答があった。その結果、全体的には、社会科地理的分野の指導は、「教科書に準拠」しながら、「高校入試への対応」も考慮して進められていることが明らかとなった。また、単元「身近な地域」の扱いは、地形図の学習に重点が置かれており、生徒を野外に連れ出す観察や調査の学習の指導はほとんど行われていないことも明らかとなった。背景には、「学校周辺の交通事情が危険」といった物理的問題もあるとの回答傾向であるが、「教科書事例が学区の事情と異なる」ことを困難点に挙げた回答も少なくなかったことから、教員の問題発見力の向上など、研修によって解決すべき問題も多々あることが推察される。

(3)全国の教育センター等のべ10箇所に、筆者らが分担して出講し、単元「身近な地域」の指導力向上をめざした教員研修の指導を行った。8箇所では、受講者を野外に連れ出し、地域調査の活動を体験してもらった。筆者らが開発・実践した研修プログラムに対する評価は、受講者からのアンケート調査票を集計できた85名分の回答による限り、90%

以上が、「たいへん参考になった」または「参考になった」と回答し、概ね好評だったことが明らかとなった。筆者らの開発した教員研修プログラムは高く評価された、といえる。2010年度に8箇所で開催講座を担当した中で、2箇所は2011年度の同様の内容で再度実施することを要請されたことからそのことがうかがえる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 16件)

雑誌論文

- ① 河合保生「台湾における日本人学校と國民中學の地理教育の実情」, ノートルダム清心女子大学諸課程年報9, pp. 10~12, 2012年(単著) 査読無
- ② 吉水裕也「地理的スケール概念を用いたマルチ・スケール地理授業の開発—中学校社会科地理的分野「身近な地域」の調査『高知県春野地区』を題材に—」, 新地理 59-1, pp.1~15, 2011年(単著) 査読有
- ③ 西岡尚也「野外歴史地理学のアウトリーチ—野外歴史地理学研究会の挑戦—」, 地球 33-11, pp.708~711, 2011年(単著) 査読無
- ④ 吉水裕也「科学的探究と空間的投影, そして地理的スケール概念による考察—学習方法・学習活動の観点から」, 地理 56-3, pp.35~39, 2011年(単著) 査読無
- ⑤ 西岡尚也「琉球王国版図に関わる歴史教科書記述の課題—高校生・大学生へのアンケートからの考察—」, 歴史と実践 31, pp.51~63, 2011年(単著) 査読無
- ⑥ 戸井田克己「地域に即し, 自然と人間の相互作用を見据えた地理教育を—内容の観点から—」, 地理 56-3, pp.24~28, 2011年(単著) 査読無
- ⑦ 河合保生「中学校社会科地理的分野における地域調査の位置づけと実施上の課題」, ノートルダム清心女子大学諸課程年報8, pp.9~11, 2011年(単著) 査読無
- ⑧ 河合保生「教員免許更新制度の歴史と教員免許更新制の導入」, ノートルダム清心女子大学紀要文化学編 35-1, pp.30~50, 2011年(共著) 査読有
- ⑨ 岩本廣美「社会科における郷土学習の再生のために」, 階 17, pp.8~9, 2011年(単著) 査読無
- ⑩ 西岡尚也「多文化共生教育としての世界地図学習の役割—ベトナム・クックドオン小学校における公開授業からの考察—」, 多言語地域における言語教育カリキュラム開発—日越地域共同研究—, pp.44~56, 2010年(単著) 査読無
- ⑪ 河合保生「中等教育における学習指導要領の改訂と教育課程—社会科・地理歴史科を中心に—」, ノートルダム清心女子大学諸課程年報7, pp.910~912, 2010年(単著) 査読無
- ⑫ 河合保生「地図と学校図書館」, 岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会年報 46, pp.29~37, 2010年(単著) 査読無
- ⑬ 岩本廣美「校外活動における地図活用—修学旅行を中心に—」, 地図中心 454, pp.36~37, 2010年(単著) 査読無
- ⑭ 吉水裕也「窓方式による地誌学習とは」, 教育科学社会科教育 607, pp.16~17, 2009年(単著) 査読無
- ⑮ 戸井田克己「新学習指導要領の解説—高校・地理—」, 地理・地図資料, 2009年1学期号, pp.1~4, 2009年(単著) 査読無
- ⑯ 岩本廣美「地誌学習へのアプローチ: 中核方式による地誌学習とは」, 教育科学社会科教育 607, pp.22~23, 2009年(単著) 査読無

著) 査読無

〔学会発表〕(計 15 件)

- ① 吉水裕也「防災ガバナンスのアクター養成を目指すコミュニティ問題の単元開発」社会系教科教育学会第 23 回研究発表大会, 2012 年 2 月 19 日, 兵庫教育大学(兵庫県)
- ② 西岡尚也「琉球王国版図に関わる歴史教科書表記の課題—高校・大学生へのアンケートからの考察—」, 第 5 回全国地理教育学会, 2011 年 11 月 27 日, 目白大学(東京都)
- ③ 岩本廣美「学習指導要領の改訂動向と中学校地理教育—平成元年以降の内容構成の変遷を中心に—」, 平成 23 年度・兵庫地理学協会夏季研究大会, 2011 年 8 月 5 日, 兵庫県立柏原高等学校(兵庫県)
- ④ 戸井田克己「目的的地からみた地理教育カリキュラム—「地理歴史科の地理」—」, 2011 年日本地理学会春季学術大会, 2011 年 3 月 30 日, 明治大学(東京都)
- ⑤ 西岡尚也「TV ドラマ龍馬伝にみる地理教育—ジョン万次郎の世界地図を中心に—」, 奈良地理学会 2010 年度冬季例会, 2011 年 2 月 20 日, 奈良女子大学(奈良県)
- ⑥ 吉水裕也「地理教育夏季研修会実施への経緯と実際—人文地理学会地理教育研究部会の取り組み—」, 2011 年日本地理学会春季学術大会, 2011 年 3 月 30 日, 明治大学(東京都), [共同発表]
- ⑦ 西岡尚也「講師の立場からみた地理教育教員研修のあり方—沖縄県における実践報告—」, 2011 年日本地理学会春季学術大会, 2011 年 3 月 30 日, 明治大学(東京都)
- ⑧ 岩本廣美「地理教育にかかわる教員研修の現状および課題」, 2011 年日本地理学会春季学術大会, 2011 年 3 月 30 日, 明治大学(東京都), [共同発表]
- ⑨ 戸井田克己「危機の今, 地理教育の存在意義を考える—内容論の観点から—」, 全国地理教育学会第 4 回大会, 2010 年 11 月 28 日, 文京学院大学(東京都)
- ⑩ 岩本廣美・河合保生・戸井田克己・西岡尚也・吉水裕也「社会科地理的分野における単元「身近な地域」の実践状況—全国の中学校社会科教員対象のアンケート調査を通して—」, 2010 年日本地理学会秋季学術大会, 2010 年 10 月 2 日, 名古屋大学(名古屋市)
- ⑪ 西岡尚也「TV ドラマ龍馬伝にみる地理教育」 沖縄地理学会 2010 年度大会(第 6 回地理教育シンポジウム: 報告者), 2010 年 7 月 24 日, 沖縄国際大学(沖縄県)
- ⑫ 吉水裕也「マルチ・スケール地理学習—高知県の農業を題材に—」, 人文地理学会第 270 回例会(特別例会), 2010 年 6 月 5 日, 高知市立自由民権記念館(高知県)
- ⑬ 岩本廣美・河合保生・戸井田克己・西岡尚也・吉水裕也「全国の教育センター等における中学校社会科地理的分野に関する教員研修の実施状況」, 2010 年日本地理学会春季学術大会, 2010 年 3 月 28 日, 法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都)
- ⑭ 西岡尚也「地理教育・はじめの一步はどうするの」 日本地理学会 2009 年度秋季学術大会(第 17 回地理教育公開講座), 2009 年 10 月 24 日, 琉球大学(沖縄県)
- ⑮ 西岡尚也「多民族教育における地球儀活用の有効性—新宿区立大久保小学校の事例を中心に—」, 沖縄地理学会 2009 年度大会, 2009 年 7 月 25 日, 沖縄国際大学(沖縄県)

〔図書〕(計 4 件)

- ① 吉水裕也『社会科教育実践ハンドブック』, 明治図書, 2011 年(共著), 240 ページ.
- ② 戸井田克己・西岡尚也 『地理教育・社会科教育の理論と実践』, 古今書院, 2012 年(共著), 406 ページ
- ③ 吉水裕也『社会系教科教育研究のアプローチー授業実践のフロムとフォー』, 学事出版, 2010 年(共著), 287 ページ
- ④ 戸井田克己・西岡尚也『近畿を知る旅ー歴史と風景ー』, ナカニシヤ出版, 2010 年(共著), 213 ページ

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岩本 廣美 (IWAMOTO HIROMI)
奈良教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 4 0 2 4 3 3 4 9

(2) 研究分担者

河合 保生 (KAWAI YASUO)
ノートルダム清心女子大学・文学部・准教授
研究者番号: 3 0 4 1 2 2 2 4

戸井田 克己 (TOIDA KATSUKI)
近畿大学・総合社会学部・教授
研究者番号: 8 0 2 8 8 9 5 1

西岡 尚也 (NISHIOKA NAOYA)
琉球大学・教育学部・教授
研究者番号: 6 0 3 3 6 3 6 0

吉水 裕也 (YOSHIMIZU HIROYA)
兵庫教育大学・学校教育研究科・教授
研究者番号: 6 0 3 6 7 5 7 1

(3) 連携研究者

なし